

9月

のし
会ま
例ら
定あ

9月定例会は、9月9日に招集され、10月6日までの28日間の会期で開かれました。

財政健全化判断比率などの報告1件、副町長の選任をはじめ人事案件3件、子育て関連条例3件の制定を含む単行議案6件、補正予算8件、平成25年度決算認定9会計の議案が上程され、可決認定しました。

そのほか、陳情10件を審議し、2件を採択、8件を不採択しました。議員提出議案2件が提案され、可決しました。

一般質問は、9人が当面する町政の問題点などをただしました。

来年4月

新しい子育て支援がスタート 3歳未満も安心保育



くりくりひろば（上六栗子育て支援センター）

子ども・子育て支援の新制度が、平成27年4月にスタートすることに伴い、関係する3つの条例を制定。

保育施設などの運営基準

多様なニーズに 대응するため、保育に係わる施設、定員、運営などを定めた条例。

Q 申請・手続きは。
A 10月から加入申請が始まる。
(反対2賛成13で可決)

3歳未満児の受皿拡大

家庭的保育事業などの設

備・運用基準を定め、保育は原則として1日8時間、1人につき保育面積3・3㎡以上。規模に応じ、保育士など職員配置を規定。
(反対2賛成13で可決)

放課後児童クラブの設備・運営基準

児童1人につき1・65㎡以上の面積を確保し、1クラス原則40人以下、支援員は2人以上とする。

Q 6年生までの受け入れは。
A 施設に余裕があれば受け入れる。
(全員賛成で可決)

一般会計
補正予算

教育施設整備基金に
5億円積み立て

町民税は、景気を持ち直しを受け、8億3500万円の増加。学校施設の整備などに備えて教育施設整備基金に5億円を積み立てした。

主な事業と質疑

・不燃物処理場の解体撤去 3000万円

Q 跡地の利用計画は、今後検討する。

A 生活道路などの整備

・町営横落住宅の外壁工事 2000万円
1200万円

人事案件

副町長

成瀬 敦氏
(反対1賛成14で同意)



大須賀町長が進める「幸せな町、幸田町」の実現のため、さまざまな施策の遂行に微力ではありますが、誠心誠意努力してまいります。

固定資産評価審査委員

鈴木 忠男氏(永野区)

(全員賛成で同意)

教育委員

川口江美子氏(大草区)

(全員賛成で同意)



元不燃物処理場を視察
(逆川地内)

議員提出議案

定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担

制度の堅持及び拡充を求め
る意見書
(全員賛成で可決)
国の私学助成の増額と拡充
に関する意見書
(全員賛成で可決)

平成26年度幸田町一般会計・特別会計 9月補正予算と採決結果

会計名	補正額	補正後の額	採決	
一般会計	5億8747万円	137億1047万円	反対1：賛成14で可決	
特別会計	土地取得	4607万円	7558万円	全員賛成で可決
	国民健康保険	1億2884万円	32億8699万円	反対1：賛成14で可決
	後期高齢者医療	163万円	2億9871万円	反対1：賛成14で可決
	介護保険	1779万円	17億1845万円	反対1：賛成14で可決
	幸田駅前土地区画整備事業	221万円	3億2475万円	全員賛成で可決
	農業集落排水事業	財源更正 (0)	3億8524万円	全員賛成で可決
	下水道事業	財源更正 (0)	7億7944万円	全員賛成で可決

陳情

- 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求め陳情書
陳情者 幸田町教員組合 執行委員長 岩下英司
(全員賛成で採択)
- 私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求め陳情書
陳情者 武石幸一
(反対13 賛成2で不採択)
- 愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求め陳情書
陳情者 武石幸一
(反対13 賛成2で不採択)
- 国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求め陳情書
陳情者 武石幸一
(全員賛成で採択)
- 幸田町文書取扱規程の改正を求め陳情書
陳情者 清水 淳
(全員反対で不採択)

- 幸田町公印規程の改正を求め陳情書
陳情者 清水 淳
(全員反対で不採択)
- 幸田町情報公開条例の改正を求め陳情書
陳情者 清水 淳
(反対14 賛成1で不採択)
- 幸田町と名古屋大学未来社会創造機構社会イノベーションデザイン学センターとの連携と協力に関する協定の非更新を求め陳情書
陳情者 清水 淳
(反対14 賛成1で不採択)
- 幸田町議会における町長発言に関する公開質問状に対する回答を求め陳情書
陳情者 清水 淳
(全員反対で不採択)
- 大草字山寺及び大井池地区一帯を環境保全重点地区とすることを求め陳情書
陳情者 清水 淳
(反対13 賛成2で不採択)

町税、増収に転じる 7年ぶりに借入れせず

今 定例会は、平成25年度の決算を審議するため、特別委員会を設置し、一般会計のほか特別会計など慎重に審議した結果、各会計とも原案どおり認定しました。

歳入 は景気回復により町税全体として24年度比10億2124万円増加しました。

これにより繰入金は、税収の増により予定していた財政調整基金10億4345万円、都市施設整備基金2億3568万円の繰り入れをとりやめました。

また、町債（借入）は7年ぶりに発行しませんでした。

歳出 では、わしだ保育園園舎増築・大規模改造、坂崎小・幸田小・幸田中学校地震補強・大規模改造などが計画どおり実施されました。

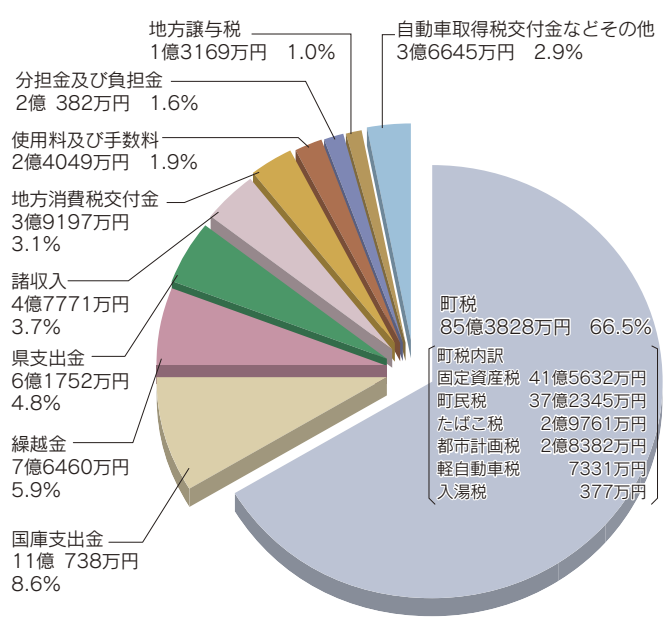
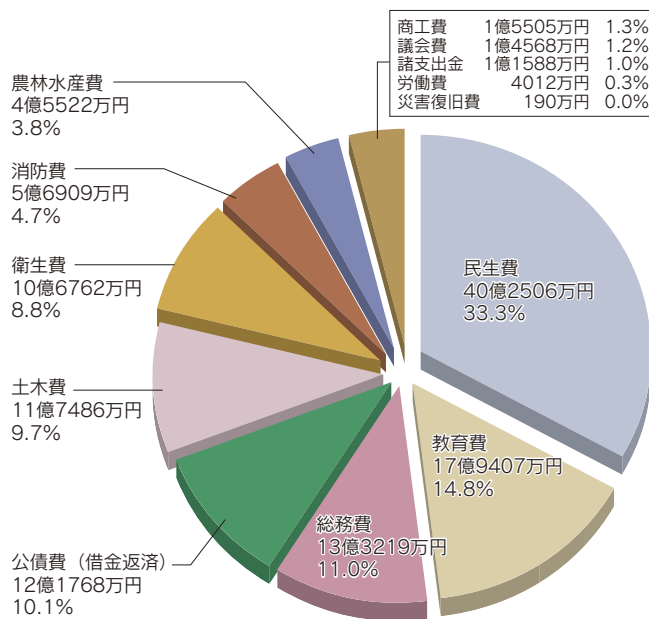
積立金は、財政調整基金に1億325万円、教育施設整備積立金に1億9961万円増加しました。

なお、平成25年度の決算総額は、一般会計（円グラフのおお）と特別会計を合わせて、歳入191億3372万円、歳出181億597万円となりました。

一般会計の決算額

歳出 120億9442万円

歳入 128億3991万円



採決（反対2：賛成13で認定）

平成25年度
決算審査意見書

監査委員

羽根瀨保博
内田 等

決算審査に付された各会計の歳入歳出決算書などは、いずれも関係法令などに準拠して作成されており、その計数は正確で、予算の執行は概ね適正であると認められた。

平成25年度決算では、法人町民などが増加したため、町税全体でも増収となり、財務指標においても改善が見られるなど、リーマンショック後の最悪期を脱出したものと見受けられる決算であった。質の高い住民サービスを持続的に提供するため、更なる事務事業の効率化や行財政運営手法の見直しなどに一層努力されることを望むものである。

2日間にわたり集中審議

主な質疑

- Q** たばこ税が2億9761万円あるが、完全分煙所を作るべきでは、との町民の声があるが。
- A** 労働衛生安全委員会にて検討する。
- Q** 全国の不交付団体の数と、本町の財政力指数、順位は。
- A** 48団体で、その内13団体が愛知県。1・04で県内8位である。
- Q** 平成25年5月、総合窓口が開設したが、住民の要望に込んでいるか。
- A** ワンストップは喜ばれているが、課題も聞いている。今後検討していく。
- Q** 教育相談活動の件数が増加している。スクールソーシャルワーカー（SSW）の配置を。
- A** スクールカウンセラーが巡回しているが、充実するためにSSWを研究する。
- Q** 駅西駐車場の無断駐車が多いが。
- A** 第2駐車場は60台ほどになる。車両番号の確認
- と所有者特定で手続きを促す。
- Q** 要支援1と2の通所介護、訪問介護が介護保険の対象から外れる。対象者と対応は。
- A** 対象は232人で、今後は、地域支援事業として町がおこなう。
- Q** 坂崎遊水地利用が少ない。サッカー場として活用できないか。
- A** 検討していく。
- Q** デマンドバスの運用を、今後研究していく。
- A** AEDを24時間使用できる所に設置を。
- Q** 今のところ考えはない。ふれあい農園の利用料と区画数。拡充は。
- A** 一区画年間5000円で68区画ある。テーマをもった農園とし、就農につながるようにしたい。
- Q** 橋梁の数と点検方法は。
- A** 281橋で長さ15m以上で45橋中39橋、15m以下で236橋中10橋点検済み。
- 業者委託で点検している。

主な事業

- ・わしだ保育園園舎増築・大規模改造 1億6370万円
- ・幸田中学校地震補強・大規模改造 4532万円
- ・坂崎小学校地震補強・大規模改造 4089万円
- ・トイレ改築（三ヶ根駅前・大井池） 3418万円
- ・高規格救急車整備 2971万円
- ・道路整備（生活道路） 6997万円
- ・総合窓口設置 2944万円
- ・斎場建設負担金 1669万円

反対

丸山千代子議員

くらしを支援する町政を

財政が厳しいと町民要望は切り捨て、7億3972万円の大規模黒字である。基金は33億1922万円を積み立てた。

町税が増収となり、県下で8位の財政力である。

4月からの消費税8%への増税は、住民のくらしを直撃している。厳しい状況におかれている時こそ、くらしや営業、福祉、教育を支援する町政をすべきだ。

討論

賛成

杉浦あきら議員

借り入れなしの行財政運営

財政運営の回復の兆しが見え始めた状況において、限られた一般財源の中で、都市基盤、教育施設整備、安全対策、子育て支援などの充実をはかった。

健全財政の維持を基本に「入りを量りて、出づるを制す」という財政規律を念頭に入れた効率的かつ持続可能な行財政運営を評価する。

反対

伊藤宗次議員

行政水準と質の引き下げを強行

税収は回復しているのに、町財政は厳しいを強調し、住宅資金利子補給事業を廃止し、共同住宅のまちを促進した。

福祉は金儲けだとする事業仕分けを強行し、行政の質と水準を引き下げた。

親切ダンブ廃車で、職員をかばい、愛知自動車は信頼できるが町内業者は信頼できぬの調査報告は、役所の体質そのものだ。

特別会計・企業会計の決算額と採決結果

会計名		歳入	歳出	採決
特別会計	土地取得	9453万円	4846万円	全員賛成で認定
	国民健康保険	31億5252万円	29億7925万円	反対2：賛成13で認定
	後期高齢者医療	2億7123万円	2億7080万円	反対2：賛成13で認定
	介護保険	14億4266万円	14億1749万円	反対2：賛成13で認定
	幸田駅前土地区画整備事業	2億8670万円	2億7249万円	全員賛成で認定
	農業集落排水事業	3億5898万円	3億5041万円	反対2：賛成13で認定
	下水道事業	6億8720万円	6億7266万円	反対2：賛成13で認定
企業会計	水道事業会計	収益的収支 6億4702万円	5億9620万円	反対2：賛成13で認定
		資本的収支 1億 327万円	2億3862万円	